

エクストリームシリーズ 2014 奥大井大会

奥大井大会 3名カテゴリー 優勝チームコメント

とれいるざんまい 杉田 明日香さん

とれいるざんまいのモットーは、「クルタノ」(苦しく楽しくの意味)です。
そのことを体現した一年でした。

今回のレースはいつも以上に不安でプレッシャーを感じていた。
レース前にいつものように雑談をしてても、どこか笑顔が引きつっている。。

最初は河原 Dash から。
川を渡る場面では、久保田さんがさりげなくフォローしてくれて惚れてしまう。

第一セクションは MTB。
さっさと MTB にまたがり、順調に先頭を走る。
でも心はいつも「すぐに追いつかれてしまうのではないか。。おそろしや～。。」と震えている。
そのこわさと楽しさがたまらない。

第二セクションはカヌー。
にトップで到着するものの、すぐ後ろから 5 チームくらいぞくぞくと到着。
その後はチームチャレンジの水切り。
久保田さんの投げた石が 8 回くらい飛び、さすが！です。

第三セクションはトレッキング。
ここの登りでは、「コナウインがすぐ近くまで迫っている」ことを具体的にイメージして登った。
そうすると、「少しでも早く進まなければ」と気合が入る。
CP8 CP9 までの途中で、「あれ、ちょっと違うか？」と久保田さん。
「高度計では m だから、もう少し下ですよ。」と杉山さん。
「スタート前にたけぷーが標高のことを話してたんだよ。それでちゃんと合わせてきたよ。」と。
たけぷーさんの一言が、ここで効いてくるとは。
さすがとれいるざんまいのチームメンバーだなあとぼんやり思う。
CP10 の神社周辺でコナウインと遭遇。

第四セクションは MTB。
ず～っと、登り。
きついです。とても。
前をいくコナウインが見える。
心が折れかけても、杉山さんが「諦めるな～！」と檄を入れてくれる。
CP14 の無双連山では、スタッフ野畑さんたちから水をもらう。
干からびそうだったので、まさに命の水。
野畑さんが神サマに見えた。
CP16 は空のポスト！！「おっっ！」
我々のパスポートを一番目に投函。
「パスッ」
この時の久保田さんの満面の笑顔。
この笑顔が忘れられない。

ゴールへ向かう道でも、最後まで気は抜けない。

「パンクしませんように」「転びませんように」など、気をつけながら早く進む。
ゴールの瞬間は、「疲れたぁ。」
次の瞬間に「嬉しい！！！」
あぁ、今回もがんばって本当に良かった。

ゴール後には、引きつり笑顔ではなく、やっと笑えるようになっていた。
大雨の中ががんばっている選手たちを見ると、
「がんばれ！あとちょっと！」と心から思う。

表彰式で、久保田さん、杉山さん、たけぶーさんと前で並んだ。
この瞬間を待ち望んでいた。
3人の笑顔が、とってもとっても嬉しいのです。

エクストリームシリーズ2013年と2014年は、とれいるざんまいで出場しました。
出場するにあたって、私の中で決めていたことがあります。
それは、「一生懸命がんばること」。
それだけです。
一番体力のない私を、いつも限界まで押したり牽いたりしてくれる久保田さんと杉山さん。
そんな二人を見ると、私もがんばらなければならない。
自然にそう思えるのです。
そんな風を感じさせてくれた二人に感謝してます。

超前向きで最強最高のリーダーの久保田さん。
限界までがばらせてくれる、最速トレイルランナーの杉山さん。
的確ナビゲーションで安定感抜群のたけぶーさん。(気持ち悪くなるのは仕方ないですよね。)
3人は、私にとってヒーローです。
一緒にレースに出ることができて、本当に感謝しかありません。
ありがとうございます。

一緒に競い合い高めあったり、
談笑したり、
色々なことを教えてくれたり、etc...
アドベンチャーレースを通じて知り合えた仲間のお陰で、
こんなに素敵な人生を送ることができています。

アドベンチャーレースというスポーツと出会うことができて、
私は幸せです。